

No.	020	—	1001	事務事業名	消防訓練事務	細事務事業名	防災訓練の起案及び指導業務	公的関与	2				
PLAN	課名	警防課	係名	警防係	電話番号	089-964-5217	メールアドレス	keiboka@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第2章 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	5 消防体制と防災・減災対策の充実		主要施策	(1)総合的な防災・減災対策の充実				
	事業の対象	消防職員及び関係各機関				根拠法令							
	事業の目的	最終的	大規模災害の発生に対し、各機関との連携及び組織力の強化を図ります。			今年度	各機関との合同訓練等、職員の育成を行います。						
	活動内容	①	国、県、市で実施される合同訓練に参加します。			④							
		②	各機関との合同訓練の立案、実施及び参加します。			⑤							
		③	各教育訓練、研修に職員派遣を行います。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	最終目標			
		国、県主催の訓練関係 (緊急消防援助隊・防災訓練等)	実施回数		回	目標	5	4	4				
			実績		5	4							
各機関との合同訓練及び研修		実施回数		回	目標	2	2	2					
				実績		2	2						
					目標								
					実績								
ODO	予算費目	会計	一般会計		費目名	消防		費					
	直接事業費		平成 30 年度決算	令和 元 年度決算	令和 2 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円								
	計(A)	0 千円	0 千円	0 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.050 人	307 千円	0.050 人	312 千円	0.050 人	312 千円					
臨時職員工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)	307 千円		312 千円		312 千円								
一次評価者	警防係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	災害は多種多様化し、近年は豪雨による自然災害が各地で多発しており、あらゆる災害に対応できる体制を整えるために必要と考えられます。												
有効性	職員の育成及び組織力の向上が図られ、迅速、的確な現場活動へと繋がっていると考えられます。												
達成度	知識、技術の習得のみならず、他機関との連携強化にも繋がり、現場活動に活かされています。												
効率性	職員の知識、技術の向上により、地域住民に対する指導等の効率も上がると考えられます。												
当面の課題	大規模災害・特殊災害発生時に迅速に対応できる職員の育成が当面の課題です。												
改 革 計 画	職員が知識、技術の向上に努め総合訓練、各機関との訓練等を重ねていきます。												
二次評価者	警防課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	今後も関係機関との訓練を重ね、多種多様化した災害の発生時において、迅速に対応できる体制づくりが必要です。												

No.	020	—	1002	事務事業名	消防資器材の整備・更新事業	細事務事業名	消防ホース購入事業	公的関与	2				
PLAN	課名	警防課	係名	警防係	電話番号	089-964-5217	メールアドレス	keiboka@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ハード事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第2章 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	5 消防体制と防災・減災対策の充実		主要施策	(2) 消防・救急体制の充実				
	事業の対象	火災現場で使用する消防用ホース				根拠法令							
	事業の目的	最終的	消防用ホースを適切に管理し、更新を行う事により消火体制の充実と被害の軽減を図ります。			今年度	消防用ホースの新規購入及び更新を行います。						
	活動内容	①	消防用ホースの更新計画の見直し。			④							
		②	消防用ホースの耐圧テスト。			⑤							
		③	修繕等維持管理。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	最終目標			
		消防用ホース		更新数		本	目標 12	11	10				
					実績 12	11							
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
ODO	予算費目	会計	一般会計		費目名	消防		費					
	直接事業費		平成 30 年度決算	令和 元 年度決算	令和 2 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	400 千円	443 千円	417 千円								
	計(A)	400 千円	443 千円	417 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.012 人	74 千円	0.012 人	75 千円	0.012 人	75 千円					
臨時職員工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)	474 千円		518 千円		492 千円								
一次評価者	警防係	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	1	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	消防用ホースの保有基準数を確保することにより確実な消防活動を実施できる体制を整えるため必要です。												
有効性	ホースの老朽化による活動中の破損及び複数の災害に早急に対応できるため、有効かつ的確な活動に繋がります。												
達成度	老朽化に伴い水漏れ及び現場活動中の破損もあるため、今後も継続する必要があります。												
効率性	消防用ホースの計画的な購入により、保有基準数を確保することで、住民の安心・安全に繋がります。												
当面の課題	現在の保有数では大規模災害、複数の災害が発生した場合、ホースが不足し対応の遅れが懸念されます。												
改計画	今後、予想される大規模災害で消防用ホースが不足しないように継続的に更新していく必要があります。												
二次評価者	警防課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	火災発生時において、迅速かつ的確な現場活動ができるように、消防署で保有する消防用ホースの保有基準数を確保しておくことが重要です。												

No.	020	—	1003	事務事業名	消防水利の整備・更新業務	細事務事業名	消火栓・防火水槽の設置事業	公的関与	2				
PLAN	課名	警防課	係名	警防係	電話番号	089-964-5217	メールアドレス	keiboka@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ハード事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第2章 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	5 消防体制と防災・減災対策の充実		主要施策	(2) 消防・救急体制の充実				
	事業の対象	消防水利の設置を必要とする地域				根拠法令							
	事業の目的	最終的	各地域の実情に応じた水利を整備し、安心・安全なまちづくりに繋がります。			今年度	初期消火設備の更新及び水利確保に時間を要する地域の対応について検討します。						
	活動内容	①	消火栓設備の新設及び点検			④	開発行為の申請対応						
		②	老朽化した消火設備の修繕			⑤							
		③	消防水利の調査										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	最終目標			
		消火栓の設置		設置数		箇所	目標 1	2	2				
					実績 3	1							
耐震性防火水槽の設置		設置数		基	目標 1	0	0						
					実績 1	0							
					目標								
					実績								
ODO	予算費目	会計	一般会計		費目名	消防 費							
	直接事業費		平成 30 年度決算	令和 元 年度決算	令和 2 年度予算	備考							
		国・県支出金	5,768 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	1,462 千円	966 千円	1,400 千円								
		計(A)	7,230 千円	966 千円	1,400 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.149 人	914 千円	0.149 人	930 千円	0.149 人	931 千円					
		臨時職員工数・経費	0.273 人	542 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		8,685 千円	1,896 千円	2,331 千円								
一次評価者	警防係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	火災発生時の初期消火や消火活動のため水利の確保は重要です。												
有効性	水利を確保することで初期消火の時間短縮ができ、有効な消火活動ができます。												
達成度	地域の状況、条件等により、設置が困難な場所があります。												
効率性	地区からの要望を考慮し、計画を立て進めていきます。												
当面の課題	消防水利が不足している地域には防火水槽や消火栓を設置して初期消火までの時間を短縮していく必要があります。												
改計画	消防水利の調査をして、水利台帳の更新作業を行い水利の条件が悪い所には計画的に設置していきます。												
二次評価者	警防課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	地区要望を考慮し、水利状況の悪い地区を解消するため効果的に設置する必要があります。												